令和８年 10 月 14 日（水）に開催した令和８年度第２回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

１　議案

（１）翌年度以降の予算確保（複数事業年度にわたる契約の締結）（案）について

ア　趣旨

事務局から、学内サーバーで運用している情報システムについて、ソフトウェアの利用料の大幅な上昇により、システムの更改期を迎える次年度において現在の運用方式を継続することが難しくなっていることから、運用コストの平準化と、災害や機器故障等の際にも安定した運用を継続できる環境の確保する観点から、情報システム基盤をクラウド型へ移行することの説明があった。

また、移行にはシステムの再構築やデータ移行に相当の期間を要し、教職員や学生への影響が小さい夏季休業期間を中心に作業を実施する予定であり、事前の設計・構築・検証に十分な期間を確保するため年度内に契約手続きを行う必要があることから、「令和９年度静岡文化芸術大学　情報システム基盤クラウド化業務委託」について、翌年度以降の予算を確保したい旨の説明があった。

イ　主な意見・質問

・７年間の長期契約となるが、料金は据え置きで対応してもらえるのか。状況変化があった際に追加費用が発生することもあるため、それも踏まえて予算を確保し、注意しながら運用していただきたい。

→本契約は７年間にわたり一括で契約するものであり、昨今の物価上昇や為替変動等による価格変動に左右されず、今回の予算内で運用していく計画である。脆弱性に対応するための作業費も計画に含めているが、現時点で予想できない事態も起こり得るため、今後の環境変化を注視していきたい。

・契約先の選定理由は何か。

→開学以来の本学のシステム運用実績に加え、国内データセンターでデータが保管されることや、行政機関のデータを預かった実績等を踏まえ選定した。

ウ　審議結果

審議を踏まえ、承認され、役員会に付託された。

２　報告事項

（１）第３期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績に関する評価結果及び第３期中期計画の変更について

事務局から、静岡県公立大学法人評価委員会より通知のあった第３期中期目標期間終了時に見込まれる業務の実績に関する評価結果について報告があった。

また、令和８年６月 24 日の経営審議会及び役員会で承認された第３期中期計画の変更について、県知事より変更認可された旨の報告があった。

以上